

# CNA レポート・ジャパン

Conferencing News & Analysis, Report on Japan market - CNAReportJapan

創刊：1999年12月  
発行日：毎月15日・月末  
PDFによる発行

オンライン会議（ビデオ/Web/音声）システム市場専門トレンドワッチ

Vol. 26 No.13 2024年7月15日

## 製品・サービス動向-国内

### ■日本 HP：「Poly G62 Video Conference system」など Poly 関連製品も含むハイブリットワークソリューションを拡充

(PRTIMES:7月4日)

株式会社日本 HP（<https://www.hp.com/jp-ja/home.html>）（東京都港区）は、ハイブリットワーク環境を向上する、Polyの新製品なども含むソリューションを拡充する。

今回、日本 HP は、よりインテリジェントで柔軟性が高く臨場感あふれる会議を可能にする Poly ビデオ会議システムと最新のソフトウェア、ハイブリットライフスタイル向けのワイヤレスイヤフォンを発表した。

Poly は、ハイブリットワークやオフィスでのコミュニケーションをより高いレベルで実現するためのソリューションを提供している。



#### ビデオ会議システム「Poly G62 Video Conference system」 (日本 HP)

今回発表された「Poly G62 Video Conference system」は、広くフレキシブルな空間にエンタープライズクラスの映像と音声を提供するビデオ会議システム。モジュラー設計により、カメラ、マイク、コントローラなどさまざまな周辺機器とシームレスに統合でき、会議室やクラスルーム、フレックススペースなどに最適なソリューションとなっている。

また、複数のカメラとマイクによる拡張が容易で、広い会議スペースでも参加者の姿を目立たせることができ、質の高い体験を提供する。サステナビリティにも配慮し、素材には使用済再生プラスチック80%と再生金属20%を使用している。あらゆるスペースに合わせて柔軟な取り付けオプションが用意されているため、設置も簡単。「Microsoft Teams」認定を受けており、「Zoom」や「Tencent」など他のプラットフォームの認定も申請中となっている。

「Poly VideoOS」の最新のソフトウェア「Poly VideoOS 4.3」も発表された。Poly のすべてのビデオ会議デバイスで統一した体験を提供するもので、最新のバージョンでは、「Poly TC8」または「TC10」を高度なルームコントローラーとして使用できるようになった。「Poly Studio X シリーズ」のビデオバー、Poly G62 Video Conference system、「G7500」と組み合わせると、ビデオ通話へのアクセスや、照明、ディスプレイなど室内のさまざまな設定を1台のデバイスから簡単に操作できるようになる。Web ベースの機能により、柔軟性がさらに向上し、室内のユーザエクスペリエンスを高めるコントロール構成が可能になる。HP 希望販売価格（税込）は 333,300 円（販売中）。



#### ワイヤレスイヤフォン「Poly Voyager Free 20 ワイヤレスイヤホン」 (日本 HP)

ワイヤレスイヤフォン「Poly Voyager Free 20 ワイ

ヤレスイヤーパズ」も発表された。本製品は、Bluetooth 接続のため外出先での使用に適している。周囲のノイズを除去するハイブリッドな適応型アクティブノイズキャンセリング（ANC）が搭載されており、音楽を楽しむときも、通話のときも、音を聞き逃すことがない。イヤホンは最大8時間の再生時間で、ポータブルのQi充電ケースを使えば駆動時間が約2.5倍延長される。快適な装着感とリスニング体験を向上させるために、「Poly Lens」モバイルアプリでは、最適なイヤチップサイズを提案する装着感テスト（テ일러フィット機能）を行える。本体はブラックとグレーの2色展開となっている。HP 希望販売価格（税込）は24,970円。販売開始日は7月15日から。

以上のほか、日本 HP は、データ通信を5年間無制限利用が可能な「HP eSIM Connect」対応製品を拡充（「HP Elitebook 1040 G11 法人限定 eSIM Connect 対応モデル」など）、また、電源オフ・通信オフラインで利用可能な MDM ソリューション「HP Protect and Trace with Wolf Connect」対応モデル（「HP Elitebook 1040 G11 HP Wolf Connect 付属 HP eSIM Connect 対応モデルなど」）を発表している。販売中もしくは7月下旬以降発売の予定となっている。

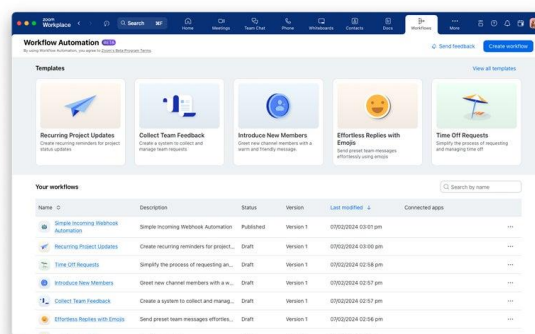
## ■ZVC Japan：職場の業務効率を向上するコード不要のワークフロービルダー「Zoom Workflow Automation」を発表

（PRTIMES：7月12日）

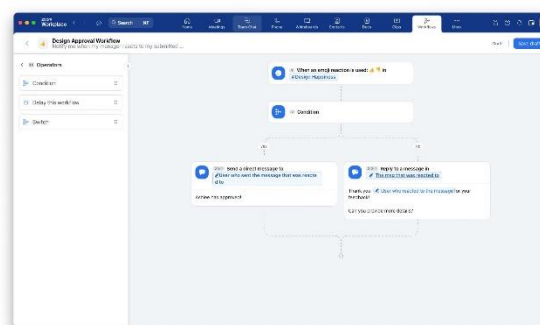
ZVC Japan 株式会社 (<https://zoom.us/>)（東京都渋谷区）は、職場の業務効率を向上するコード不要のワークフロービルダー「Zoom Workflow Automation」のベータ版の提供を開始した。

Zoom Workflow Automation は、ユーザフレンドリーでコードが不要で、複雑なワークフローを誰でも簡単に構築できるもの。ユーザーはあらかじめ用意されたテンプレートから選択したり、独自のワークフ

ローを構築して日常業務を自動化することができる。



Zoom Workflow Automation 画面例（ZVC Japan）



Zoom Workflow Automation 画面例（ZVC Japan）

ユーザーが「Zoom Workplace」やサードパーティ製アプリケーション間で複雑なワークフローを構築・自動化できるようにすることで、ユーザーはより有意義な業務に時間を割くことができ、ルーティンタスクに充てる時間を削減したり、同僚とさらにシームレスにコラボレーションできるようになる利点がある。

同社は、まずは、AIを搭載したZoomのチャットソリューションである「Zoom Team Chat」にてWorkflow Automationを提供する。

タスクの自動化例としては、プロジェクトの定期的な更新スケジュールの設定、また、チームに対して「Team Chat」チャンネルでステータス更新を投稿するようにリマインド、さらに、機能リクエスト、ユーザフィードバック、インシデントレポートなどの情報を効率的に集めて集約などがあり、こういったタスクにおいて、Zoom Workflow Automation は、ワークフ

ローを設定する際の手間を省き、面倒な反復作業を削減し、チームを支援する。同社では、一般的な多数のためのテンプレートをあらかじめ用意しており、今後も幅広いビジネスニーズをサポートするために、新しいテンプレートを導入していく予定という。

ベータ期間中は、Zoomの有料ユーザーは追加料金なしでWorkflow Automationを利用できる。一般提供時には、有料プランには無制限の標準ワークフロー実行とプレミアムワークフロー実行の割り当てが含まれ、割り当てを超過した場合は特定の実行ごとに料金が発生する。

## 導入利用動向-国内

### ■ブイキューブ：エネルギーやカーメンテナンス、スポーツや介護など運営のヤマウチ、経営方針発表会をVCPでオンライン開催、全国各地の従業員と双方向で没入感の高い経営方針発表会を実現

(7月11日)

株式会社ブイキューブ (<https://jp.vcube.com/>) (東京都港区) は、株式会社ヤマウチ (香川県高松市) が、2024年度の経営方針発表会に、視聴者とのエンゲージメント向上を実現する映像音声の配信・通話プラットフォーム「V-CUBE Communication Platform(VCP)」を導入したと発表。



ヤマウチの2024年度の経営方針発表会の模様  
(ブイキューブ)

ヤマウチでは、年に1度行う経営方針の発表の場を、

全従業員を対象にした表彰式および、ねぎらいの場としても活用し、皆が顔を合わせる機会としてきた。それがコロナ禍によって多くの人を集めることが難しくなり、オンラインの活用ができなかと検討してきた。

その中で、企業としても新しいものを採用していくべきだという立場から、メタバースをはじめとした3DCG空間の活用についてもまずは体験・勉強するところから始めた。特に多彩な演出ができる3DCGの没入感は、経営方針の発表の場だけでなく、それに続いて開催する表彰式や従業員とのコミュニケーションの場としても最適だと考え、VCPを使ったオンライン開催に至る。

検討した際のポイントは、視聴者があきやすくなるのが想定できるため視聴体験の工夫ができること。また、年に1度の貴重な機会を社員同士のコミュニケーションの場にしたいことから、双方向的なコミュニケーションができるという点。しかしながら、車内イベントに最適化されたツールがなかなか見つけられずにいたという。



ヤマウチの2024年度の経営方針発表会の模様  
(ブイキューブ)

VCPが採用された理由としては、(1)単なるプレゼンテーションを見る体験ではなく、3DCGやファンウォール、エモーショナルスタンプなどの機能で、没入感を高める演出が可能である。(2)3DCGのリアルタイム合成で登壇者の背景に資料やVTRを提示。多彩な演出で飽きさせない工夫が可能である。(3)配信内容や演出に合わせて、機能・デザインをカスタ

マイズ可能。社内イベントに適切な視聴体験が実現可能となっている、といった点。

VCPは機能・デザインをカスタマイズ可能なおえ、インタラクティブなためエンゲージメントの高いイベントになったと社員一同満足しているという。

ブイキューブでは、今後もお客様のコミュニケーション DX 実現に向けてさまざまなコミュニケーションサービスを提供していくとしている。

\*導入事例詳細：

<https://jp.vcube.com/eventdx/case/eventdx079.html>

## セミナー・展示会情報

<国内>

### ■Zoom Experience Day Summer Virtual

日時：7月18日（木）13:00～

会場：オンライン

主催：ZVC Japan 株式会社

詳細・申込：

[https://events.zoom.us/jv/Ag6AafNBb6xDMSfzKJPabP8iBvOPcE6-TYBI4-z9KSxEWhqdk7r8-Av0HhQO6ypIbht8RHrpw\\_sv9yILvYB-9ulx-6rnA8zVNmj7HwNOXckWNA](https://events.zoom.us/jv/Ag6AafNBb6xDMSfzKJPabP8iBvOPcE6-TYBI4-z9KSxEWhqdk7r8-Av0HhQO6ypIbht8RHrpw_sv9yILvYB-9ulx-6rnA8zVNmj7HwNOXckWNA)

### ■ブイキューブセミナー情報（7月）

「これからのオンラインコミュニケーションの可能性 — DX 吉井塾の公開生放送」「もう音問題に悩まない！個室ブースの防音体験会!!」「Copilot や API を活用!! Chat アプリ開発最前線」など

会場：オンライン／オンデマンド／東京

主催：株式会社ブイキューブ

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

### ■Webex Meetings 関連ウェビナー（7月）

「【利用者向け】今月のWebexアップデート活用方法（7月）」など

会場：オンライン／オンデマンド

主催：シスコシステムズ合同会社

詳細・申込：[https://www.cisco.com/c/m/ja\\_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html](https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/training-events/events-webinars/collaboration-webinars.html)

国内その他：<https://cnar.jp/cna/event-j.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

## 業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月2回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

### ■フェイスブック（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

### ■X（Twitter）（遠隔会議&UC トレンドワッチ）

<https://twitter.com/cnarjapan>

### ■メーリングリスト（dtc-forum）

<https://cnar.jp/cna/dtcforum-ml.html>

## 定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999年～最新号）は下記 URL で閲覧できます。

<https://cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

CNAレポート・ジャパン 2024年7月15日号

ホームページ：<https://cnar.jp> お問い合わせ：[cnar@cnar.jp](mailto:cnar@cnar.jp)